

先端統合デザイン特論 I

授業科目名	先端統合デザイン特論 I	単位数 2 単位
英語標記	Progressive Inclusive Design I	
授業コード	360114	
受講人数	30 人	
担当教員	川崎 和男	
対象	全研究科大学院生、全学部学生、社会人（10 名程度）	
開講時間等	第 1 学期＝火曜 6 限（4 月 13 日～）	
開講場所	中之島センター	
キーワード	プロダクトデザイン	
授業の目的	本講義では、デザイナー、デザインディレクタに必要な、デザイン提案能力、デザインマネジメント能力を養うための基礎力として、デザイン基礎の講義、実践、演習を行う。数学、理学を背景に持つ工学と、人間中心アプローチを背景に持つデザイン論の統合としてのプロダクトデザイン方法論を論じる。	
講義内容	4 月 13 日 ガイダンス 4 月 20 日 先端デザイン概論 4 月 27 日 デザインコンセプト論 5 月 11 日 課題 5 月 18 日 デザイン史 5 月 25 日 形・形式・形態論 6 月 1 日 ATOM・BITS デザイン論 6 月 8 日 コミュニケーションデザイン論 6 月 15 日 課題 6 月 22 日 色彩論 6 月 29 日 映像・音響・S/N デザイン論 7 月 6 日 ファッション・流行デザイン論 7 月 13 日 課題 7 月 20 日 ビジネスデザインモデル論 7 月 27 日 プレゼンテーション論	
教科書	特になし。http://www.design.frc.eng.osaka-u.ac.jp/を参照のこと	
参考書	特になし。http://www.design.frc.eng.osaka-u.ac.jp/を参照のこと	
成績評価	適宜指示される課題及びレポート	
履修条件・受講条件		
その他		

人工物に関する学問という意味において、工学と芸術は同一であり、また 20 世紀初頭までは事実同一であった。この 100 年間の工学と芸術の乖離を、デザインのもとに再融合させる。

本講義では、デザイナー、デザインディレクタに必要な、デザイン提案能力、デザインマネジメント能力を養うための基礎力として、デザイン基礎の講義、実践、演習を行う。数学、理学を背景に持つ工学と、人間中心アプローチを背景に持つデザイン論の統合としてのプロダクトデザイン方法論を論じる。

受講者は、形態デザイン、色彩デザイン、素材デザイン、映像デザイン、音響デザイン、メディアデザインを例に、その背後にある物理学、生理学、工学、審美学、哲学、歴史等をトータルに学習し、課題制作を通してデザイン力を身につける。